

品種	月旬	5			6			7			8			9			10			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ヒノヒカリ	作業	播種	元肥	代かき	苗箱防除	田植え	除草剤	追肥	中干し	穂肥	穂肥	出穂前防除	落水	刈取り	乾燥調整	土づくり				
	内容	土壌改良剤(リンスター)30を施用する。			坪60株、2/3本植	坪60株、2/3本植		茎数の確保	茎数16~18本で開始	出穂20日前	出穂10日前	いもち病に注意	出穂後35日頃	稲実の85%が黄化した時						
	水管理		代かき	湛水				飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)												
	登熟期																			

品種	月旬	5			6			7			8			9			10			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
山田錦	作業	播種	元肥	代かき	苗箱防除	田植え	除草剤	追肥	中干し	穂肥	穂肥	出穂前防除	落水	刈取り	乾燥調整	土づくり				
	内容	土壌改良剤(リンスター)30を施用する。			坪50株、2/3本植	坪50株、2/3本植		茎数の確保	茎数16~18本で開始	出穂20日前	出穂10日前	いもち病に注意	出穂後35日頃	稲実の90%が黄化した時						
	水管理		代かき	湛水				飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)												
	登熟期																			

品種	月旬	5			6			7			8			9			10			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
キヌヒカリ	作業	播種	元肥	代かき	苗箱防除	田植え	除草剤	追肥	中干し	穂肥	穂肥	出穂前防除	落水	刈取り	乾燥調整	土づくり				
	内容	土壌改良剤(リンスター)30を施用する。			坪60株、2/3本植	坪60株、2/3本植		茎数の確保	茎数16~18本で開始	出穂20日前	出穂10日前	いもち病に注意	出穂後35日頃	稲実の85%が黄化した時						
	水管理		代かき	湛水				飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)												
	登熟期																			



使用時期	病害虫名	使用薬剤名	使用量
移植3日前 移植当日	いもち病、ニネツトムシ、コメイチュウ、ウナギ、ネコノミ、カメシ、コメシ、コメシ	Dr.オリゼプリンス 粒剤10	1箱当り 50g

使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
出穂20日前 (収穫21日前まで)	紋枯、コメイチュウ、ニネツトムシ、ウナギ、コメシ		バダンバッサバダ 粉剤DL	4kg
出穂直前 (収穫14日前まで)	いもち病、紋枯、ツマグロヨコバイ、コメイチュウ、ウナギ、コメシ	ラテラワイド 粉剤DL		4kg
出穂10~14日後 (収穫7日前まで)	ツマグロヨコバイ、ウナギ、コメシ	トレポン粉剤DL		4kg

使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
出穂20日前 (収穫30日前まで)	紋枯、コメイチュウ、ニネツトムシ		ルーバンリンパー 粒剤	3kg
出穂10日前 (収穫35日前まで)	いもち病、ウナギ、コメシ	フジワンラップ ラップ粒剤		4kg

品質向上のポイント

- 窒素(タンパク質)含有率を抑える
 - 施肥基準に準じた適正な施肥量を施用し、多肥はつしむ。
 - 出穂期以降の追肥は絶対に行わない。
- こまめな水管理
 - 飽水管理を行ない、水をためたまにしない。
 - 出穂後の水不足や早期落水をさせ、粒の充実を図る。
- 適期刈り取り
 - 早刈り・刈り取り遅れに注意する。
- ていねいな乾燥・調整
 - 高温乾燥・過乾燥・急速乾燥に注意する。(14.5%~15.0%)
 - むれ米に注意する。
 - ライスグレーターの調整を行い、周米・被害粒を完全に選別。
 - 仕上げ米に初が混入しないよう初摺り機の能率を調整する。
 - ※消費者の求めている米づくりをするため、品質・食味の向上をめざしてください。

倒伏防止対策

- ①健苗の植付け、適正な植付密度、施肥管理、水管理により過繁茂を防ぎ、太茎にするとともに、株間の通風と採光を良くする。
- ②節間伸長期(出穂25日前以降)に窒素を効かせすぎないようにする。
- ③紋枯病の防除。
- ④中干し以降の飽水管理により根の活力を維持する。

斑点米対策

- (カメシ防除が斑点米の発生を防ぎます)
- ①水田周辺(農道・畦畔・休耕田等)の雑草を出穂の2週間前までに刈り取って下さい。
 - ②畦畔からの飛込みによる被害が多いので、畦から3mくらいを重点的に防除して下さい。
 - ③基幹防除は必ず行い、臨機防除については発生に応じて防除を行って下さい。
 - ④多発時、穂ぞろい期〜傾熟期に薬剤を散布します。散布適期は、出穂後10~14日頃が目安です。

土づくり資材

資材名	保証成分 %	基準 (kg/10a)
みらいくん	く溶性りん酸 2.0% 可溶性けい酸 24% アルカリリン酸 38% く溶性苦土 8% 腐植土 7%	200kg
とれ太郎	アルカリ分 40% 珪酸 30% 苦土 12% リン酸 6%	60kg
アヅミン	腐植酸 約50% 苦土 10%	40kg
リンスター30	リン酸 30% 苦土 8%	40kg

・農薬散布後の止水期間は7日間
・水田用除草剤や本田粒剤の散布後7日間は落水やかけ流しをしない!

除草剤

草の多い田 (2回) 散布	使用薬剤名	使用量(10a)	使用時期	生育中に雑草が残った場合
	ショキニーフロアブル + トップガンGT1キロ粒剤51	500ml + 1kg	代かき 2~3日 7日 10日 14日	◎ノビエ、及び一年生雑草の同時防除 クリンチャーパスME液剤 1000ml/10a(希釈水量70~100リットル) 移植後15日~ノビエ5葉期(収穫50日前まで)
草の少ない田 (1回) 散布	トップガンGT1キロ粒剤51 又は トップガンLフロアブル 又は トップガンLジャンボ 又は トップガンL豆つぶ	1kg 又は 500ml 又は 10パック(250g) 又は 250g	代かき 2~3日 5日 10日	◎一年生雑草(イネ科を除く)の防除 パサグラン液剤 500~700ml/10a 70~100リットルの水に希釈し、雑草の茎葉に直接散布します。散布後3日間は水を入れないで下さい。 移植後15日~50日(収穫50日前まで)

除草剤の効果的な使用方法

- ① くれ返しはできるだけ深く、2回以上行って下さい。
- ② 畦畔からの水漏れを防いで下さい。
- ③ 代かきはできるだけ水を少なくし、トラクターのロータリー回転を落とし、田面が均平になるよう行って下さい。
- ④ 除草剤散布後3~4日間は水深3~5cmの湛水状態を保ち、除草剤散布後7日間は降雨があっても落水、かけ流しはしないで下さい。
- ⑤ ホタルイ等の雑草が多い場合は、ショキニーフロアブルの体系処理がより効果的です。
- ⑥ フロアブル・ジャンボ剤の使用については、特に田面の均平を高め、水を保つように心がけて下さい。
- ※また、アオミドロ等の多発田では、充分な除草効果を発揮しませんのでご注意ください。

施肥基準

品種	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥			成分量
				中干し時	穂肥	出穂時	
ヒノヒカリ (単位:10a当りkg)	JA兵庫みらい化成 14-12-14	30	30				4.2 3.6 4.2
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量要素
	ニューかん太郎有機 12-6-12	30			30		3.6 1.8 3.6
山田錦 (単位:10a当りkg)	山田錦化成 12-14-16	15	15				1.8 2.1 2.4
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量要素
	穂肥有機 12-4-14	20			10	10	2.4 0.8 2.8
キヌヒカリ (単位:10a当りkg)	JA兵庫みらい化成 14-12-14	30	30				4.2 3.6 4.2
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量要素
	ニューかん太郎有機 12-6-12	25			25		3.0 1.5 3.0

品種	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥			成分量
				中干し時	穂肥	出穂時	
ヒノヒカリ (単位:10a当りkg)	エムコート045 20-14-15	40	40				8.0 5.6 6.0
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量要素
	ハイセラコートR004 20-10-14	20	20				4.0 2.0 2.8
山田錦 (単位:10a当りkg)	ハイセラコートR004 20-10-14	20	20				4.0 2.0 2.8
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量要素
	ハイセラコートR024 20-12-14	35	35				7.0 4.2 4.9
キヌヒカリ (単位:10a当りkg)	ハイセラコートR024 20-12-14	35	35				7.0 4.2 4.9
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量要素

環境にやさしい農業をすすめています。